

CT 造影検査を受けられる方へ

1. なぜ画像診断検査で造影剤を注射するの？

画像診断検査には以下のような目的があります。

1. 病気があるのか正常なのかをはっきりさせる
2. どんな種類の病気なのかをはっきりさせる
3. 病気の広がりや進み具合をはっきりさせる

画像診断検査では、造影剤を用いたほうが上記の所見がよりはっきりするので、日常的に造影剤を使用しています。今回の検査でも、造影剤を注射する可能性があります。ただし、造影剤を使用せずに十分な診断ができた場合、あるいは、造影剤の副作用が強く出るおそれがある方には造影剤は使用しません。

2. 造影剤の副作用の種類と頻度は？どんな人に出やすいの？出た時の治療は？

CT 検査に使用するヨード造影剤の副作用では、ほとんどの方で熱感を感じられます。比較的多いものとしては皮膚のかゆみ、じん麻疹、手足のむくみ、吐き気 めまいなどの気分不良があり、これらは 30 人に一人ぐらいの割合で起こります。血圧が下がったり息が苦しくなったりする重大な副作用はまれですが、約十万人に一人の割合でおこります。（死亡する例はさらにまれですがゼロではありません。数十万人に一人の割合とされています。）症状がでる時期は、ヨード造影剤では注射した後すぐに起きる場合（即時性）と検査終了一時間後から数日後に生じる場合（遅発性）があります。つまり、検査が何事もなく終了しても数日間は症状がでる可能性があります。

重大な副作用を起こす特異体質の患者さまを前もって知る良い方法は今のところありません。ただし、以前、薬の内服や注射（造影剤も含む）、食べ物（そば、そば、卵など）などでじん麻疹が出たり気分が悪くなったことがある方や、ぜんそくのある方では副作用が出やすいことが知られています。別紙の問診表でこれらのことをチェックしますので、きちんと記入して下さい。問診により副作用の危険性が高いと判断される場合、造影剤注射は行いません。

3. 造影剤注射をしたくないと思ったらどうしたらよい？

あなたには選択の自由があります。今回の造影検査にかわる検査はないのか、造影検査を行わない場合に生じる不利益がどのようなものか、主治医とよくご相談のうえ、選択して下さい。

4. 造影検査当日の飲水・摂食について（造影剤使用予定の方のみ）

- ・ 午前の検査の方は朝食を摂らないで下さい。午後の検査の方は昼食を摂らないで下さい。
- ・ 水やお茶などの水分は普通にお飲みいただいて結構です。（牛乳などの乳製品を除く）
- ・ 服用中のお薬は、特に医師よりの指示がない限り、通常とおり服用して下さい。